

# 江差町議会だより

■発行・北海道江差町議会  
■編集・議会広報特別委員会  
〒043-8560  
北海道檜山郡江差町字中歌町193番地の1  
☎[0139] 52-6713 (直通)

## お弁当の時間です！

江差幼稚園では、月水金曜日は給食、火木曜日はお弁当を持参しています。この日はお弁当の日。ご飯の上に顔が描かれているものや、色彩豊かなかわいいものばかり。子どもたちにとって、愛情いっぱいのお弁当は、世界にひとつだけのものです。



平成26年  
6月議会

## コミュニティ助成など6事業を補正 江差中学校改築整備は継続費繰越

平成26年6月定例会を6月12日に開会し、平成26年度補正予算を中心に、条例の制定など提案された4件の報告、7件の議案を審議し、原案どおり可決しました。

また、3人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。

—もくじ—

- ◇定例会の補正予算、繰越事業、審議状況等・・・2～3P
- ◇行政報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4P
- ◇一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～7P
- ◇議会の動き、新議員決定、意見書を提出・・・・・・8P

## 6月12日 第2回定例会 補正予算

# コミュニティ助成など1,562万8千円補正



コミュニティ助成（財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業）を活用して土台改修整備を行う豊川地区豊榮山。現在の山車は昭和63年に製作され、年月の経過により山車土台のバランスが崩れ、車輪等に負荷がかかり巡行に際し危険な状態となっていた。（昨年のお祭大神宮渡御祭のようす）

第2回定例会で提案された予算補正は、町有地法面崩落復旧対策、コミュニティ助成、テレビ中継局予備電源整備、就農給付金、戸別所得補償制度、文化会館スプリンクラーポンプ改修の6事業で、全会一致で可決されました。

また、平成25年度における継続費繰越として江差中学校改築整備が、繰越明許費として、農業基盤整備促進（暗渠排水整備）、町営住宅南が丘第2団地外壁等改修、消防救急デジタル無線整備、直轄港湾災害復旧の4事業が報告されました。繰越事業は、平成26年度も引き続き事業が実施されます。

## 補正の状況

会計名	今回補正額	補正後の予算額
一般会計	1,562万8千円	47億6,285万8千円

補正事業名	補正額	補正内容
◆町有地法面崩落復旧対策	224万7千円	崩落箇所の改修（土砂の除去、植生吹付け、法面の整形）面積150㎡
◆コミュニティ助成	250万円	豊榮山山車土台改修整備事業補助
◆新栄・円山デジタルテレビ中継局予備電源整備	620万4千円	災害時等の停電の際の予備電源を確保。放送法の改正により、テレビ中継局への予備電源の設置が義務化された。
◆青年就農給付金事業	150万円	北海道青年就農給付金事業を活用し、新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間、最長で5年間1人当たり年間150万円を上限に給付金を交付。26年度3人の予算計上済み。追加で1人補助。
◆経営所得安定対策	178万9千円	江差町地域農業再生協議会補助。
◆文化会館スプリンクラーポンプ配管改修	138万8千円	スプリンクラー用配管のバルブと逆支弁の不具合により、配管内の圧力が下がることが判明し改修する。不具合の原因は経年劣化によるもの。

# 江差中学校は継続費繰越 繰越4事業1億649万円

## 平成25年度一般会計継続費繰越

継続事業名	継続費予算額	支出済額	翌年度繰越額
◆江差中学校改築整備	14億3,222万5千円	5億2,674万2千円	9億548万3千円



## 平成25年度一般会計繰越明許費繰越

補正事業名	予算額	翌年度繰越額
◆農業基盤整備促進事業（暗渠排水整備）	4,571万6千円	4,571万6千円
◆町営住宅南が丘第2団地外壁等改修	1,827万1千円	1,827万1千円
◆檜山広域行政組合負担金 （消防救急デジタル無線整備）	3,861万9千円	3,861万9千円
◆直轄港湾災害復旧 （西外防波堤・西防波堤災害復旧）	3,883万6千円	388万4千円

### その他の審議状況

#### 報告

- ◆和解及び損害賠償額の決定について  
町道走行中の車両に樹の蓋が跳ね上がり車両の一部を破損させた。
- ◆江差町土地開発公社経営状況  
土地開発公社の経営状況を報告。

#### 条例改正

- ◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正  
地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の制定に伴う障害者自立支援法の改正による。具体的には、「障害程度区分」を「障害支援区分」に改める内容。
- ◆国民健康保険税条例の一部改正  
地方税法の一部改正に伴う、所得の少ない世帯への軽減措置の拡大のみを行う。

#### その他

- ◆江差町上ノ国町奥尻町障害程度区分認定審査会共同設置規約の一部変更  
特別職の報酬等条例の改正内容と同様に、「障害程度区分」を「障害支援区分」に改める内容。
- ◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更
- ◆北海道市町村総合事務組合規約の一部変更

いずれも、組合を脱退する団体及び新規に加入する団体が生じたことに伴い、規約の一部を変更する。

- ◆過疎地域自立促進市町村計画の変更  
江差町民野球場スコアボード改修に伴

う事業実施について、過疎地域自立促進市町村計画の事業として取り進めるため、計画を変更する。

#### 議員発議

- ◆平成25年度各会計決算審査特別委員会の設置について  
平成25年度会計決算に関することを審査するために設置。議長及び議会選出監査委員を除く10名で構成される。
- ◆議員の派遣について  
7月初旬に開催される道議長会主催研修会への議員派遣。

#### 委員会報告

- ◆総務産業常任委員会「林業活性化に関する事務調査」
- ◆社会文教常任委員会「文化財の保存・活用に関する事務調査」  
いずれも閉会中の継続調査。



# 行政報告



二議員が町政を問う  
一般質問

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質すことができる唯一の場です。

- ◆質疑は要約されています◆  
議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。
- ◆表示の説明◆  
文中の再、再再はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

**「町長行政報告」**  
 ☆学校給食組合不正経理事故に係る告訴について  
 組合として可能な限り早い告訴とすべく準備を進めてきたが、6月11日付で元栄養士職員に対する告訴状を江差警察署に提出し、受理されたので報告する。  
 告訴事實は、平成18年4月14日から平成25年7月23日までの延べ261回にわたって、自己が業務上管理していた食材等を自己の用途に費消するためほしいままに着服し、もってこれを業務上横領した事実。  
 告訴した処罰意思としては、被害金額のうち相当額が弁済されているものの、  
 ①被告人と調理員の主張が相違する部分が多く、事実解明を司直に委ねることが妥当であること  
 ②被告人の供述はあまりに虚偽の部分が多く、真に反省している態度が見られないこと  
 ③給食費の不正流用によって、少なくなった給食費で食材の提供を受けた児童・生徒の被害回復は不可能であり、発生した被害は甚大であって、全容解明のための捜査及び被告人に対する厳重な処罰を求めるというものである。  
 当初申し上げていた告訴予定の時期から遅れたのは、犯罪構成要件及び告訴状に添付する証拠資料の精査等について、司法側との事前相談に約2カ月半ほどの時間を要したものであり、そのことによって速やかな告訴状の受理となったことをご理解いただきたい。  
 今後は司法による全容解明に全面的に協力していく所存である。

- ☆寄附採納について
- ・青少年健全育事業の一環として、新入学児童61人にノート・鉛筆の学用品 江差ライオンズクラブ 会長 片石明彦 様
  - ・運動公園美化のために、運動公園遊歩道沿いに桜の苗木100本（時価10万円相当） 公明党江差支部 様
  - ・町内の小学校3校に「ニシンのぼり」3りゅう  
江差信用金庫 理事長 藤谷直久 様より2りゅう  
高岡葬祭（株）代表取締役 高岡広明 様より1りゅう
  - ・保育園に「ニシンのぼり」1りゅう  
公益社団法人 江差地方法人江差地区会 様
  - ・北海道第2代開拓使長官の東久世通禧の書 万年雅利 様

**「教育長行政報告」**  
 ☆北海道医療大学心理科学部と江差町教育委員会との地域連携事業に関する協定書の締結について  
 北海道医療大学との関わりは、中1ギャップ未然防止事業を推進する中で、道内の第一人者である同大学心理科学部の富家直明教授に平成22年から講演会や指導・助言を受けてきたほか、大学側には、町が持っている歴史や文化などの学習の場として最適な環境であるとし、地域連携による大きなメリットが双方に得られることから協議を重ねてきたことに関して3月定例会で報告した。  
 このたび、協定書の内容について合意を得たことから、北海道医療大学心理科学部「中野倫仁」学部長様と、町教育委員会「小路政信」委員長による調印式を、去る6月3日に同大学あいの里キャンパスで行った。  
 このことにより、児童生徒の不登校問題やコミュニケーション能力の向上等に係る指導・助言を、年2回程度江差町において行うことや、大学や学生が求める江差町の素材を生かし研修を行うことで両者の有益な関係を構築していきたいと考えている。

(写真) 協定書をもつ小路政信教育委員長(左)と中野倫仁学部長(右)



# 「学校給食費問題について」

教育長 町長の行政報告のとりこである

横山 敬三 議員（無党派）

町長の行政報告に証拠

資料の精査等について司法側との事前相談に約2カ月半を要したとされているが、その具体的な内容について明確にお答え頂きたい。

教育長 町長の行政

報告の文面に書かれている内容のとおりにご理解頂きたい。

再 どうして遅れたの

か。町長の行政報告以上の内容について、誠意をもって答えて頂きたい。

教育長 事前に弁護

士を中心に、受理してもらえるよう第三者委員会の内容などを相談してきた。第三者委員会に提出された資料だけでなく、伝票などの原本整理、精査に時間がかかった。おかげで提出後即受理となり、非常に早い決定となったことをご理解願

たい。

再

第三者委員会は弁護士がついて、そこで十分な資料が整い、検討しているものだと思うが、そうでないとすれば第三者委員会の報告書が不十分なものだったということに繋がるのではないか。

教育長 第三者委員

会の9人の委員が真摯に活発な意見を交換し、まとめたもので、大変な報告書であると認識している。告訴事実や処罰の意思

は全て第三者委員会での話が基になっている。1日も早く告訴をしたいと今日まで来たことをご理解頂きたい。

## 「人口減少問題について」

加速化していく人口減

少に對し、将来に責任のある町長はどのような認識を持っているか。対応策は。

町長

昨年、2040年に江差町の人口が4,600人と公表され、また民間有識者会議では、自治体消滅の可能性があると警鐘を鳴らしている。人口急減・超高齢化社会になることを私どもは再認識し、危機意識を共有すべきである。

対応策は、保育料の軽減や医療費の無料化等、

人口減少を少しでも抑制する施策を念頭にまちづくりを進めてきた。医療・福祉・教育・就労の場確保・住宅問題など、子育て支援の拡充や環境の整備に向けた施策を一層充実させる対応策が重要と考えている。人口減少問題は、地方自治体の課題というより国としての長期課題であり、国が主導

再

して抜本的な対応策を打ち出すべきものと考えている。一般的な内容では

難しいと思うが、もっと江差町独自の対策を打ち出して頂きたい。

副町長

対策は個別に打ってきたが、人口減少問題にどの程度貢献したかを立証するのは難しい。江差町における人口は少し変調を来している状況もあり、人口面だけでいうと明るい要素もある。

再

具体的にどのようなかをやっていくべきか、長期的な視野の発言、提案は。

副町長

人口減少問題だけに限って政策をした訳ではなく、子育てがしやすい環境を作っていくとやってきた。少なくとも減少対策として一番有望な策だと思っている。私どもなりに色々な協議を進めながら、政策を個別に打ってきている。



一般質問する横山議員

江差町の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）単位：人

人口推計	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
男	3,492	3,146	2,816	2,502	2,208
女	3,883	3,480	3,095	2,727	2,382
計	7,375	6,626	5,911	5,229	4,590

# 「防災総合訓練について」

**町長** 避難所運営訓練などを予定している

小林 栄治 議員（日本共産党）

具体的にどのようなことを考え、更には地域を巻き込んだ取り組みになると思うが、現時点でどのようなようになっていくか。

**町長** 北海道防災総合訓練の一環として全道3箇所（松前・島牧・江差）が対象地域となっている。平成26年10月15日午前10時から訓練を実施し、現時点で計画している内容は、

- ・文化会館を会場とした「避難所運営訓練」
- ・「江差町災害対策本部移転訓練」「災害対策本部運営訓練」
- ・松ノ岱グラウンドを会場とし道警の機動隊・航空隊が参加する「救出救助訓練」
- ・柏町から豊川町まで下町地区を対象とした「避

難訓練」

・「医療支援」「医療救急訓練」

などが予定されている。

大規模な訓練となるため、各町内会のご理解ご

協力をお願いしたい。

**再** 地域の住民がどのくらい組織できればいい

か考えはあるか。

**建設水道課長** 町内会

には、受付業務や会場設

営、給水協力、給食協力、

これらを総合的に行政が

主体的にやれないケース

がある。町民が避難し、

そして協力する、このよ

うな避難訓練を素案の段

階だが考えていきたい。

7月中には図上訓練も

予定している。

**再再** 医療支援訓練は

早めに医療機関への協力を

をすべき。また、津波災

害は重要だが、地滑りや

集中豪雨などの防災訓練

も必要ではないか。

**建設水道課長** 避難訓

練の中に大雨対策等も入

れながら、より細かい対

応は個別の避難訓練で考

えていきたい。そのため

に町内会の自主防災組織

の協力も得ながら実施し

ていきたい。

きた。しかし、解体等の

費用問題や相続問題等で

解体撤去まで進んでいな

いのが現状。

町でも他の自治体の例

を参考にしながら条例制

定について検討を進めて

いる。

空き地対策について

は、本格的な売却に向け

公募等を行い、建物付き

宅地の売却も計画的に進

めていきたい。

**再** 住宅の有効活用と

いう観点で何か考えてい

ることはあるか。

**建設水道課長** 空き家

を所有している方々が

どのように考えているか

実態把握が必要。空き家

の所有者にアンケート調

査を実施する予定。その

アンケートの内容を踏ま

え、今後どう対策を講じ

ていくか検討していきたい。

い。

## 「空き家、空き地 対策について」

個人が所有する建物は個人が管理すべきだが、そうならないない事実をどう評価し、今後町としてどのように考え取り組みを強めるのか。

**町長** 空き家住宅等の

総数は230件となっ

ている。これまで危険な空

き家住宅は目視等の町内

巡視を行い、所有者に対

し連絡するなど対策して



昨年行われた愛宕・新栄・豊川地区を対象にした津波避難訓練。大津波警報発令による住民避難訓練（要援護者対策含む）や防災関係機関との情報通信訓練が行われた。写真は豊川町の高台に歩いて避難した地域の皆さん。このほか訓練には多くの住民が参加した。

# 「高齢者等の見守りについて」

**町長** 登録者の情報内容を充実させたい

**小野寺 真 議員** (日本共産党)

避難行動要支援者名簿の作成はどうなっているか。「高齢者の見守りと支えネットワーク」とどう結び付けていくのか。自主防災組織に対する情報提供をどう考えているか。

**町長** 本年度中に要支援者支援要綱の基準により台帳整備を行う予定。高齢者見守り支えネットワークや民生委員等と連携を図り、登録者の情報内容を充実させたい。

また、自主防災組織は、町内に5団体設立され、地域でも災害弱者の情報を把握することが災害時の支援に必要。町個人情報保護条例に基づき情報提供していきたい。

**再** 一町内会での自主防災組織の運営は大変厳しい。法律の改正により、個人の名簿を提供できることが活かされないのでは

ないのか。

は。担当課の見解は。

**建設水道課長** 小規模な町内会が自主防災組織を作るのは厳しい。職員が町内会や地域に入って考えていきたい。

## 「国保について」

納期の回数を増やし1回分を少なくする等できないのか。できない理由は。短期保険証や資格保険証を受け取っていない人は何人か。なぜ郵送しないのか。

**町長** 課税状況の決定や冬期間の収入が総体的に少ないこと等により納期を12月までに設定し、年6回としている。当面、納期の変更は考えていない。

短期保険証及び被保険者資格証明書を受け取っていない世帯数は、36件と10件。税の負担公平と

滞納者の面談機会を設け納付勧奨等を行うため郵送していない。

**再** できない理由は何か。生活実態、特に医療、世帯の構成はどうなっているのか。

**税務課長** 必ずしも回数を増やすことで納めやすいかという疑問点もある。当面6回としたい。

**町民福祉課長** 納税相談に来られた方は短期保険証を発行しており、生活実態を把握することにも繋がる。

**再** 取りに来ないから生活実態や健康なのかどうか分からないということがある。

**町民福祉課長** 基本的に納税相談を下さいと納期ごとに通知し、また自宅での相談も可能。

## 「新幹線対策について」

江差・奥尻・木古内での連携・協議等が必要ではないか。

**町長** 渡島檜山全町で組織する「みなみ北海道

観光推進協議会」によるアクションプランの策定、奥尻・木古内を含む渡島檜山南部9町で組織する「木古内駅活用推進協議会」による二次交通と一体となった観光メニュー作りの取り組み等、新幹線開業効果をしっかりと享受できるよう、今後も関係市町と連携し各種事業を展開していきたい。

**再** 奥尻とうまくタイアップして宣伝や取り組みをやっていくべきでは。

**追分商工観光課長** 新幹線の開業に向け、江差から乗江差に戻ってくる観光客が増えることが予想されることから、奥尻航路の活性化協議会では、これに対しても片道助成しようという取り組みも実施している。具体的な部分では煮詰まっていながら、今後も魅力づくりに向けた取り組みをしていきたい。

他に「農地対策について」を質問しています。



新幹線木古内駅活用推進協議会のポスター。この協議会は、北海道新幹線木古内駅を拠点として、道南西部9町全体を広く周遊・交流して頂くため、駅周辺の自治体や公共交通機関などが中心となり設立。交流人口拡大による地域活性化を目指し、道南西部9町の観光資源の磨き上げや情報発信、二次交通網の整備などを行っている。

## 議会の動き

5月8日

◆檜山議長会

5月14日

◆社会文教常任委員会（出席6名）

・文化財の保存・活用に関する事務調査

5月21日

◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）

・第2回定例会について

◆社会文教常任委員会（出席5名、欠席1名）

・文化財の保存・活用に関する事務調査  
（現地視察）

5月22日

◆総務産業常任委員会（出席3名、欠席2名）

・林業活性化対策に関する事務調査

5月29日

◆檜山広域行政組合臨時議会

6月3日

◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）

・第2回定例会について

6月5日

◆道議長会総会

6月12日

◆第2回定例会（出席12名）

7月1日

◆福島県国見町議会視察

7月4日

◆道議長会主催議員研修会

7月14日

◆土幌町議会視察

7月16日

◆広報特別委員会（出席3名、欠席2名）

・8月号議会だよりについて

◆社会文教常任委員会（出席3名、欠席2名）

・文化財の保存・活用に関する事務調査

7月23日

◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）

・8月号議会だよりについて

7月24日

◆熊本県人吉市議会視察



土幌町議会視察のようす（7月14日）

## 横山議員が辞職 新議員が決まりました！

横山敬三議員が平成26年6月26日付で辞職されました。横山氏は平成19年8月から2期7年にわたり議員として活躍され、常任委員会や議会運営委員会の副委員長も歴任されました。

また、横山敬三議員の辞職に伴い、7月8日に告示された町議会議員補欠選挙において、折戸幸博氏以外に届出がなく、無投票で当選が決まりました。

◆新議員名：折戸 幸博（57歳）

◆住 所：上野町

◆任 期：平成26年7月14日～平成27年8月10日



当選証書を受け取る折戸議員

## 意見書を提出

6月議会では11件の意見書を提出し、全て可決、関係行政機関へ提出しました。

◆「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書

◆地方財政の拡充を求める意見書

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

◆平成26年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

◆道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

◆義務教育国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

◆地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

◆総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書

◆鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書

◆中小企業の事業環境の改善を求める意見書

◆集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書